

メールのセキュリティの考え方

1 メール添付ファイル

- (1) 弊所では、パスワードなしでメールにて文書を送らせて頂いております。
- (2) かつては、パスワードの付いた文書のメールと、パスワードが書かれたメールを別々に送ることが行われてきました。
- (2) 上記の手法については「PPAP」と呼ばれることがあり、セキュリティ対策としては意味がないだけでなく、逆にセキュリティの脆弱性を招くと注意喚起されています。
- (3) そもそも、セキュイターの設定をしっかりとっておけば、他人のメールを盗み見ることは難しいと言えます。
逆に、メールの内容が流出した場合には、パスワードも流出してしまいます。
- (4) 詳しい内容については、「PPAP セキュリティー」でインターネット検索すれば、いろいろな記事を見つけられます。気になる方は参考にして下さい。

2 クラウドストレージの共有

- (1) 弊所では、クラウドストレージを使ったデータの共有することがあります。
- (2) メールにて、以下のメールが届くことがあります。
「〇〇さんから次の共有フォルダの共同編集に招待されました。」
弊所では閲覧者のメールアドレスを使って制限しています。データを見れるのは、このメールアドレスを使った人に限られます。

- (3) システム上、パスワードの設定ができませんので、そのまま送らせて頂いておりますが、セキュリティ上の問題はありません。

(弊所が利用している)大手のIT企業の製品となります。パスワードの設定という概念がないのでは、「特定のメールアドレスを持っている人しかアクセスできないためにセキュリティ上は問題ない。」という設計概念があるからです。

3 ご不安な方

- (1) パスワードの設定がないと不安という方もおられると思います。弊所では、チャットワークや、スラックを活用しておりますので、希望があれば同ツールを使って情報共有をさせていただきます。
これらのチャットツールはセキュリティの安全性が高いと言われます。希望があれば、ご連絡下さい。
- (2) お手数かけますが、弊所のメールの運用について、ご理解頂ければ幸いです。

